

「米作農業」の倒産・休廃業解散動向（2024 年 1-8 月）

「コメ不足」のさなか、コメ農家の倒産・廃業が急増 過去最多を更新へ

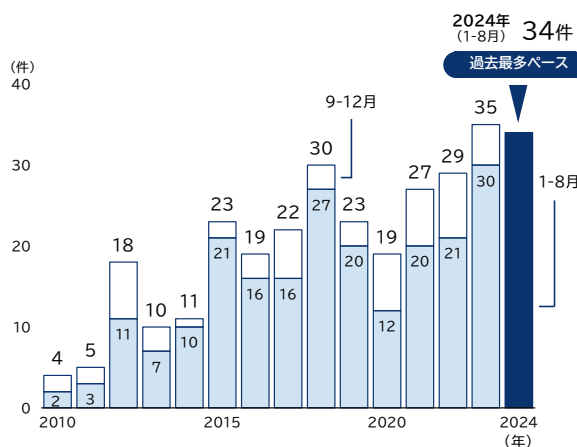
肥料などのコスト増負担が重く、生産者の高齢化・後継者不足も追い打ち

全国的なコメ不足と価格高騰のなか、米作農家の倒産や廃業に歯止めがかからない。2024 年 1-8 月に発生した米作農業（コメ農家）の倒産（負債 1000 万円以上、法的整理）が 6 件、休廃業・解散（廃業）が 28 件発生し、計 34 件が生産現場から消滅した。倒産・廃業の件数は 23 年通年の件数（35 件）を大幅に上回り年間最多が確実で、初の年間 40 件台到達も想定される。

主食用のコメを生産するコメ農家で倒産や廃業が相次ぐ背景には、生産コストの上昇と深刻な後継者・就農者不足があげられる。農林水産省の調査によると、2023 年における農業に必要な生産資材の価格は、20 年平均に比べて 1.2 倍に上昇した。なかでも、原料の多くを輸入に頼る肥料は 1.5 倍、ガソリン・軽油の値上がりで光熱動力費は 1.2 倍、農業薬剤は 1.1 倍と、主な資材のほとんどが値上がりした。他方で、国内の主食用米の消費量減少などを背景に販売価格への転嫁が難しく、利益が残らないことから翌年の苗床やトラクターなどの機材調達費用が捻出できず、コメづくりを断念するケースも多かったとみられる。また、小規模なコメ農家では就農者の高齢化や離農が進む一方、次世代の担い手が見つからないなど後継者不足の問題が顕在化している。

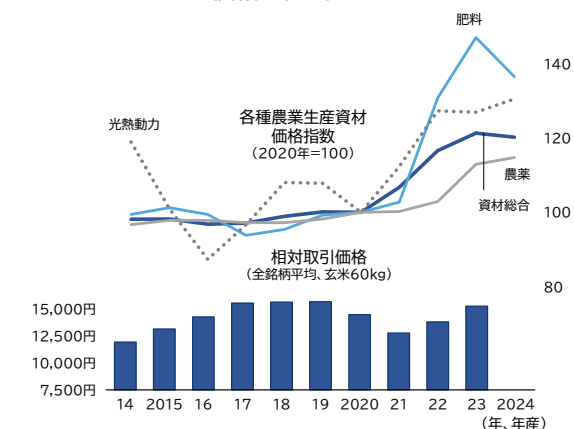
足元では主食用米の価格は上昇しているほか、低農薬米や無農薬米など高付加価値米の需要拡大などで業績を伸ばすコメ農家もある。また、JA を中心に新規就農支援の取り組みが進むなど、後継者不足に悩む生産基盤の強化が進んでいる。ただ、資材高騰と値上げ難で農家が経営をあきらめる状況が続けば、将来的に主食のコメが安定的に供給できなくなる可能性もある。

「米作農業」倒産・休廃業解散件数 推移



【注1】「倒産」：負債1000万円以上の法的整理が対象
【注2】「米作農業」は、穀物のうち米（水稲・陸稲）の生産が主な農業

農業に必要な肥料や農薬は
価格が高騰している



【出典】農林水産省「農業物価統計調査（令和2年基準）」「米穀の取引に関する報告」
【注】相対取引価格の推移は年産ベース。2023年産の価格指数は24年6月の数値

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。